

チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統の申請概要

1. 申請品種（チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統）の概要

遺伝子組換えトウモロコシ「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON89034 系統」（以下、「MON89034 系統」という）は、デント種に属するトウモロコシに *Bacillus thuringiensis* subsp.*kurstaki* に由来する *cry1Ab* 遺伝子と *cry1Ac* 遺伝子、そして *Bacillus thuringiensis* var. *aizawai* に由来する *cry1F* 遺伝子をもとに合成した *cry1A.105* 遺伝子、及び *B. thuringiensis* subsp.*kurstaki* 由来の *cry2Ab2* 遺伝子を一部改変した改変 *cry2Ab2* 遺伝子を導入したトウモロコシである。

cry1A.105 遺伝子及び改変 *cry2Ab2* 遺伝子を導入することにより、Bt タンパク質（殺虫性タンパク質）が発現し、チョウ目害虫に抵抗性をもつ。

なお、当該品種には選択マーカー遺伝子は含まれていないことが確認されている。

2. MON89034 系統の利用目的および利用方法

MON89034 系統が従来のトウモロコシと異なる点は、Bt タンパク質の発現によりチョウ目害虫に対する抵抗性をもつことであり、その飼料としての利用目的や利用方法に関して、従来のトウモロコシとの相違はない。

3. 諸外国における申請等

2006 年 10 月に米国食品医薬品局（FDA）へ飼料としての安全性審査の申請を行った。

2006 年 11 月にカナダ農務省(CFIA)に、飼料としての安全性審査の申請を行った。

2006 年 12 月にオーストラリア・ニュージーランド食品基準局(FSANZ)に飼料としての安全性審査の申請を行った。

なお、申請資料は、「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」（平成 16 年 5 月 6 日 食品安全委員会決定）に沿って作成されている。